

「学生」×「地域」カフェ

「高齢化率 70%の限界集落での活性化取組」との連携について

(大杉谷地域活性化やったる会)

三重県戦略企画部企画課

1 大杉谷地域活性化やったる会の活動について

「大杉谷地域活性化やったる会」は、過疎・高齢化が進展している大台町大杉谷地区で、4年前から地域の活性化に取り組まれている皆さんで、現在 19 名が活動しています。組織は、空き家部会、ものづくり部会、よろずや部会、環境部会で構成されています。

会長 副会長	空き家部会	・地域内の 80 戸程度の空き家の活用を検討 ・貸し主の確保、移住希望者への紹介（大杉谷移住促進協議会との連携）
	ものづくり部会	・地域外から移住した方へ仕事を提供するため、特産品の開発を検討（自然薯、こんにゃく芋などの栽培）
	よろずや部会	・高齢化により、庭木の手入れや草刈などができなくなっていることから、有料で支援
	環境部会	・自然環境の保全 ・宮川ダムの汚水等の対策

県地域支援課では、「大杉谷地域活性化やったる会」が中心となって取り組まれている集落機能の低下を補うための様々な取組（耕作放棄地の活用、I ターンに向けた対策等）を支援しており、今回、県内高等教育機関の学生の協力を得るため、募集をしました。

この取組を通じて、学生の皆さんが地域の課題を共有するとともに、活性化のための企画など学生目線から問題点を提起し、地域住民とともに今後の対策を検討していくことを目指しました。

2 取組概要

本年度は、計 3 回の活動を行いました。三重大学と皇學館大学から延べ 3 人の学生が参加しました。参加学生は、活動中に地域の住民の方と積極的に交流をしました。

第 1 回目（平成 25 年 7 月 28 日） オリエンテーション（参加者 2 名）

「やったる会」の活動状況や今後の連携のあり方などについて、意見交換を行うとともに、耕作放棄地の現地確認を行いました。



第2回目（平成25年11月4日）山里ふれあい自然薯収穫祭（参加者2名）

「やったる会」主催の収穫祭に参加し、自然薯の収穫作業、収穫した自然薯を用いた調理体験、地域住民や一般参加者との交流を行いました。

県外の高等教育機関（早稲田大学）の学生が、ゼミ活動の一環で企画段階から関わっており、彼らとの交流もしました。



第3回目(平成25年12月1日) 植樹した桜の手入れ作業 (参加者1名)

「やったる会」で植樹した桜の手入れ(獣害防止ネットの撤去・補修、桜への肥料やり等)の手伝いを通じて、地域の住民との交流を行いました。



3 地域と参加学生からの感想

(1) 地域からの感想

- ・高齢者が多い中、学生が活動に参加してくれることは歓迎しており、喜んでいきます。
- ・学生に企画段階から積極的に関わってほしい。
- ・学生の地域活動が、今後も継続してできるような組織の設置を、行政・学校が率先して推進してほしい。

(2) 参加学生からの感想(取組に対する思い)

- ・地元も高齢化が進みつつあるが、大杉谷地域は高齢化という意味で先駆的な地域であると思うので、将来自分の地域で高齢化が進んだときに備え、この取組を勉強したいと思い、参加しました。
- ・大杉谷地域の素晴らしい自然に魅力を感じて、参加しました。
- ・ほぼ期待どおりの内容でした。